

# 平成30年全国山火事予防運動

林野庁では、3月1日から7日にかけて「全国山火事予防運動」を実施し、「小さな火 大きな森を破壊する」を統一標語として全国で山火事予防意識の高揚を図る運動や、森林パトロール等を実施してまいります。



昭和44年から実施されている「全国山火事予防運動」の今年のポスターには、神奈川県私立東海大学付属相模高等学校2年の村山風沙さんの作品が、標語には栃木県小山市立間々田中学校2年の海老沼美咲さんの作品が選ばれました。

平成29年5月 釜石市で発生した林野火災の様子 (写真提供：岩手県総務部総合防災室)

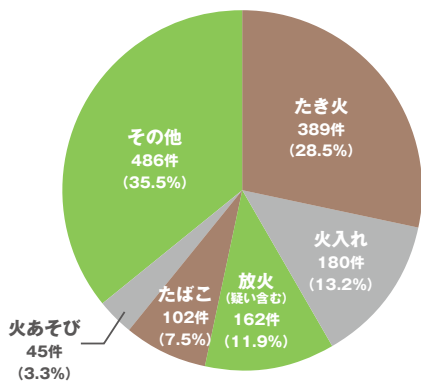
## 春は山火事に用心

山火事は、例年春先に集中して発生します。空気が乾燥し、森林内の落葉などが燃えやすい状態になっており、さらに強風等の条件が重なると、たき火が燃え移って山火事が発生したり、その拡大の危険性が非常に高くなります。また、山菜採り等で山に入る人のたばこの火の不始末なども山火事発生の原因となります。平成29年は4月下旬以降、10haを超える林野火災が多数発生し、特に、福島県浪江町や岩手県釜石市等で大規模な林野火災が発生しました。

山火事が一旦発生すると、消火は容易ではなく、また、長い年月をかけて育てた貴重な森林を一瞬にして失うこととなります。空気が乾燥している日や風の強い日には、たき火や火入れをやめるなど、特に火の取扱いに注意が必要です。

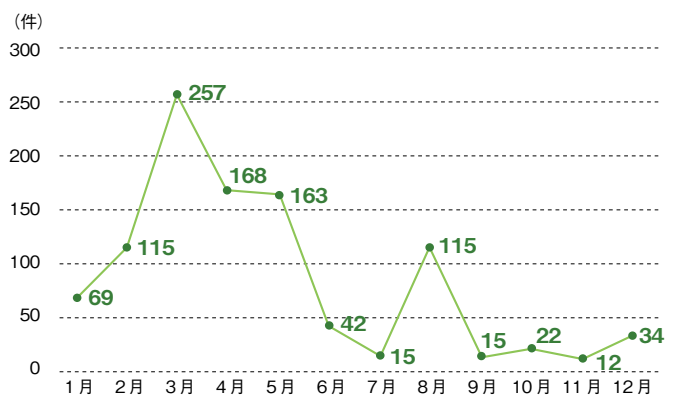
一人ひとりが火の用心を心がけ、日本の素晴らしい森林を守り、後世に引き継いでいきましょう。

出火原因別発生件数(平成24～28年の平均)



過去5年間では、たき火が1位で全体の約3割を占め、次いで火入れ、放火(疑い含む)の順となっています。

林野火災の月別発生件数(平成28年)



平成28年に発生した林野火災の発生件数は1,027件で、その半数以上は3～5月に発生し、特に5月には257件もの発生がありました。



岩手県釜石市で発生した林野火災の様子（写真提供：釜石地方森林組合）



福島県浪江町で発生した林野火災の様子（写真提供：福島県消防防災航空センター）



普及啓発用横断幕の設置（下北森林管理署）

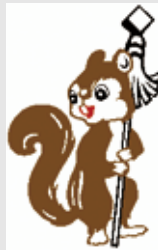


普及啓発パレード（秋田県）

**【林野庁からのお願い】**

山火事は一旦発生するとその消火は容易ではなく、一瞬にして貴重な森林を焼失するだけでなく、その回復には長い年月と多くの労力を要することとなります。このようなことにならないよう、次のことにご留意ください。

- ① 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- ② たき火など火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- ③ 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- ④ 火入れをする際は、市町村長の許可を必ず受けること
- ⑤ たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いながらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- ⑥ 火あそびはしない



山火事防止のシンボルマーク「まといりす」

**近年の林野火災の発生状況**

区分／年次	H24	H25	H26	H27	H28
出火件数(件)	1,178	2,020	1,494	1,106	1,027
焼損面積(ha)	372	971	1,062	538	384
損害額(百万円)	190	233	1,369	255	157

資料：消防庁統計資料に基づいて作成

**山火事や自然災害に備えて～森林保険制度～**

**森林保険の対象となる8つの災害**

<p><b>火災</b> 山火事で受けた損害</p>	<p><b>風害</b> 暴風による幹折れ、根返りなどの損害</p>	<p><b>水害</b> 豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害</p>	<p><b>雪害</b> 豪雪・積雪による幹折れ、根返りなどの損害</p>
<p><b>干害</b> 乾燥による枯死などの損害</p>	<p><b>凍害</b> 凍結、寒風などによる枯死などの損害</p>	<p><b>潮害</b> 潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害</p>	<p><b>噴火災</b> 火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害</p>

森林保険制度は、火災をはじめとした森林の損害に対して保険金をお支払いし、林業経営の安定を図ることを目的とした制度です。山火事が発生すると、一瞬にして広大な面積の森林を焼失してしまうこともあります。「火の用心」の備えの一つとして、森林保険の加入も大切です。

また、森林保険は火災だけでなく、気象災・噴火災もカバーしています。平成28年度においては、風害や雪害などの気象災害を中心に7億円余りの保険金が支払われています。台風や大雪などへの備えとしても森林保険は有効です。

春先に多く発生する山火事の予防はもちろんですが、万が一の森林被害への備えについて見直してみてもいかがでしょうか。

**森林保険のお問合せ**  
 お近くの森林組合、森林組合連合会、または森林保険センターへ  
 (国研) 森林研究・整備機構 森林保険センター  
 ☎044-382-3500